

会員各位

令和4年1月5日  
矢作川環境技術研究会  
会長 鹿島建設株式会社 中部支店

## 第7回 建設工事における汚濁防止対策「矢作川方式」若手勉強会 受講者募集について（依頼）

拝啓 新春の候、会員各位におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日ごろは、矢作川環境技術研究会の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、本会は「第7回建設工事における汚濁防止対策『矢作川方式』若手勉強会」を下記のとおり、「新型コロナウイルス感染症」拡大予防対策を講じて開催します。ご関係の皆様にお知らせいただき、受講応募くださいますようお願い申し上げます。 敬具

記

### 1. 開催趣旨

持続可能な流域づくりに向けて自然共生にふさわしい地域整備の在り方とその具体的推進が求められています。既にESD（持続可能な教育）の取り組みは、様々な主体で推進され、各種事業や施工にも環境技術の重要度が増して、「矢作川方式」の経験にも関心が広がっています。国連においてはSDGs（持続可能な開発目標）※<sup>1</sup>が掲げられ、土木技術者にも環境重視の考え方が拡大するとともに、土木分野にもカーボンニュートラルの達成※<sup>2</sup>に向けた貢献が期待されています。

本事業は、若手の現場担当者並びに異動で名古屋支店等に初めて赴任された方を対象として、「矢作川方式」で培った先輩方の実践経験による環境保全技術を学び、広く流域圏の視野を持って今後の事業や施工現場での課題対応に積極的に挑んで頂くことを目的に開講するものです。今回の若手勉強会は講座形式で、講師に顧問はじめ「矢作川方式」による環境保全対策工法等に経験有る技術者（OB含む）を招請します※<sup>3,4</sup>。

※<sup>1</sup>：2015年9月、国連サミット採択の「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すという国際目標。内容は17の目標と169の標的及び232の環境指標で構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っている。矢作川流域でも行政はじめ企業・各団体がSDGsへの取り組みが進行している。

※<sup>2</sup>：地球温暖化で自然災害が増加するなど気候変動の影響が世界で顕在化してきた。この実態を背景に、産業界は脱炭素社会に向けて真剣に取り組む時代に突入した。カーボンニュートラルは温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることを意味する。この取り組みは、産業革命以前に比べ気温上昇を1.5℃以内に抑えるため、温室効果ガスの排出を世界全体で2050年までに正味ゼロを達成する必要があるという科学的知見に基づく。低炭素社会の構築に適した技術・行動はビジネスチャンスともいわれている。

※<sup>3</sup>：全国土木施工管理技士連合会にCPDSプログラム申請を行います。

※<sup>4</sup>：「新型コロナウイルス感染症」の再拡大によって、一部若しくは全部を中止する場合があります。予めご了承ください。

### 2. 主催

矢作川環境技術研究会

### 3. 内容

- (1) 日時 令和4年2月10日（木）12：30（受付開始）、13：00（開講）～17：00（閉講）
- (2) 場所 明治用水会館 2階 大会議室 （アクセス→<http://www.midorinet-meiji.jp/>）

(3) 内容 基本編：環境に配慮した施工計画／事前協議手続き（開発計画・施工計画書）／  
汚濁防止対策の基本・流出防止対策作業標準

事例編：3 現場程度

全体討論：質疑応答、意見交換

(4) 参加費 受講者お一人**¥2,000.-**（配付資料代）※<sup>5</sup>

教材：テキスト「新版 建設工事における汚濁防止対策の手引き 第二版」

※<sup>5</sup> テキストは持参ください。無い方に「初版本」を無料貸与します。テキストは当日販売もいたします。

(5) 定員 25名（会員枠）。受講申込書に要件を記入して、研究会事務局へ FAX 又は E-mail  
で送信してください。今回は抽選で受講者登録します。（申込書先着順ではありません。  
郵送・社内回覧等による時間差が生じたり、案内初期に申し込みが殺到したりするのを避け、  
受講機会を均等にさせていただくための配慮です。）

(6) 申込み期限 **1月20日（木曜日）17：00**

締切り後すみやかに、明治用水会館にて顧問立合のもと、申込者全員を対象に厳  
正なる抽選を行います。抽選後すみやかに、抽選結果を申込者全員にお知らせ  
し、定員枠内の選出者に登録確認書を送付します。登録者が都合で辞退された場  
合は、選出順で漏れた方より代替登録いたします。

#### 4. 付帯事項

(1) CPDS 学習プログラムの申請を行います。この証明書はご希望の方に発行します。

(2) 事後は実施結果を取りまとめ、次年度に向けて課題を抽出します。

(3) 「新型コロナウイルス感染症」拡大防止への配慮事項

参加登録者の研修制限

- 勉強会に出席を見合わせていただく要件
  - ① **37.0℃**以上の発熱、感冒症状（咳・のどの痛み・下痢・嘔吐・体のだるさ・倦  
感）や息苦しさ・呼吸困難等がある方（体温 37.0℃以上の方は受講できませ  
ん。）
  - ② 新型コロナウイルスに感染または感染疑いのある方と濃厚接触があつてから 14  
日以内の方
  - ③ 外国への渡航歴のある方で、帰国後 14 日以内の方
- 勉強会当日にお願いする要件
  - ① 当日はご自宅等で検温していただき、発熱が無いことを確認の上お越しく  
ださい。
  - ② 感染予防のため、スタッフが受付時に「検温」して発熱が無いことを確認  
します。
  - ③ 当日はマスクの着用をお願いします。
  - ④ 会場等では、消毒等の徹底、受講時並び休憩時に 3 密予防（密閉・密集・密接を避  
ける）をお願いします。

(4) 明治用水会館の取り組み

勉強会受講者および関係者は、利用する会館の「新型コロナウイルス感染症対策」を遵守します。

#### 5. その他

筆記具は各自持参してください。

研修会場（喫煙コーナー除く）は禁煙です。

受付時に「配付資料」と「お茶（500ml ボトル）」を配付します。

CPDS 受講証明書の希望者に、閉式後「CPDS 技術者証」で本人確認を行い手渡します。本人確認ができない場合は渡すことができませんので、当日は必ず CPDS 技術者証 を持参してください。

その他は、当日の案内に従ってください。

受講登録された方は、事前に、本会発行「新版 建設工事における汚濁防止対策の手引き 第二版」、「研究年報 水は生きている 2021」、「研究発表予定稿・現場紹介」などをお読み頂くと講座に効果的です。

## 6. 問い合わせ先

矢作川環境技術研究会 事務局（株）太陽機構内

担当／野田、牧内 Tel : 052-339-0855（呼出）

矢作川環境技術研究会

第7回 建設工事における汚濁防止対策「矢作川方式」  
若手勉強会 受講申込書

令和4年 月 日

「矢作川方式」若手勉強会に受講を申込みます。

[申込者]

会員登録番号 \_\_\_\_\_ (封筒の宛名下にあります。会員外は必要ありません。)

名 称 \_\_\_\_\_

所属部 課名 \_\_\_\_\_

ふりがな  
ご 氏 名 \_\_\_\_\_

連 絡 先 電話(携帯)番号 \_\_\_\_\_

テキスト(下記)の確認(該当する番号を○で囲ってください。)

「新版 建設工事における汚濁防止対策の手引き 第二版」

天野 博 監修・矢作川環境技術研究会手引き編集委員会編,2016年発行。

- I. 不要 → 当日持参します。
- II. 必要 → 当日貸与を希望します。(無料、終了後に返却します。)
- III. 必要 → テキスト \_\_\_\_\_ 冊 購入します。(¥2,000円/冊、受付で徴収します。)

CPDS 受講証明書の希望確認(該当する番号を○で囲ってください。)

- I. 不要
- II. 必要 → CPDS 登録番号: \_\_\_\_\_ (必ず記入)  
(閉講後に CPDS 技術者証等で本人確認して手渡します。)

抽選結果・受講登録書(「Eメール」または「FAX」)の送信先

注: 抽選結果・受講登録書は「Eメール」又は「FAX」で送信します。Eメールアドレスは鮮明にご記入ください。

連絡方法とあて先(ご希望の方法を○で囲ってください。→) \_\_\_\_\_ ・ Eメール ・ FAX \_\_\_\_\_

Eメール アドレス \_\_\_\_\_

TEL 番号 \_\_\_\_\_ FAX 番号 \_\_\_\_\_

※ ご記入いただきました情報は、今回の行事以外には使用いたしません。

[送信先] 矢作川環境技術研究会 事務局 行

Eメール jimukyoku@yakanken.jp FAX 052-324-8182